

車椅子体験で活用する

(小学校第5学年)

【活用した資料】

- 小学校版「心たくましく」 p.108～p.109 第三章 「⑧ 伝えよう、あなたの思いやり」

【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 2-(2)「だれに対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にする。」

○ 事前学習で、親切にしてもらったときの気持ちに気付くきっかけとして。

総合的な学習の時間で車椅子体験をする事前学習で、親切にしてもらったときに気持ちに気付かせるきっかけとして、「心たくましく」第三章 p.108～p.109「伝えよう、あなたの思いやり」を活用しました。

車椅子体験は、実際に児童が車椅子に乗ってみることで、体の不自由な人の気持ちに共感させ、乗っている人の気持ちになって車椅子を扱うことができるようになることをねらいとしています。そこで、事前学習として、自分が親切にされた体験や、そのときの気持ちを振り返らせ、「心たくましく」p.109の「思いやりの気持ちを感じたよ！」の欄に書き込ませました。

児童からは、「本当にうれしかった。」「とてもありがたかった。」「感謝の気持ちを学んだ。」といった声が挙がり、思いやりの心をもつことや親切にすることの大切さを、あらためて実感していました。

○ 事後学習で、相手の立場に立って親切にしようとする気持ちを育むために…。

車椅子体験をしたあとで、体験を通して感じたことや考えたことをまとめるために、「心たくましく」p.109を活用しました。

ここでは、自分が親切な行動ができた場面を振り返らせ、「相手を思いやって、行動できたよ！」の欄に書き込ませました。互いの体験を発表し合う中で、児童は、相手の立場に立って親切にすることが、相手だけでなく自分の心も温かくしてくれることに気付くことができました。また、ちょっとした心掛け一つで自分の行動が変わることも分かり、日常生活の中で意識していこうとする気持ちをもつこともできました。